音声記録（抜粋 1）の反訳

録音日：2023(R5)0707

反訳者：野村一也（請求人）

[野村]

去年の 1 0 月の 1 4 日に西田さんが作成した文書。

[坂野]

西田・・・

[野村]

西川さん。西川健太さんが作成した文書。電話対応報告書。この中で、湯里駐車公園の賃借人が、賃貸契約が決まりました、というやり取りを、あなたが作ってるんです。電話対応報告書をね。

[西川]

はい。

[野村]

1 年も経ってないか覚えてますよね。去年の 1 0 月。

[西川]

ええ。

[野村]

覚えてますよね。この中で、FAX で、すごい短い、「この人に決まりました」っていう F A X だという文章が添えてあって、ただ、メールの本文、あなたの報告書の中では、この中に、契約書をあらかじめもらっていると、写しを、ということが書いてあるんですね。

本人が、町からの賃借人に、町からの、建物は、土地を借りてる人が言ってる言葉として、契約、賃貸の契約書っていうのは・・・あれ、これちょっと待ってて。賃貸の契約書って、もしかして、町からの賃貸なのかな。

[坂野]

ちょっと別室でいいですか？

ちょっと待って、あなたが出すもので、どう考えても、あるべきものを、あなた「ない」と言ってるから。

[坂野]

だから時間長くなりそうなので・・・

[野村]

いや、すぐ終わるって、すぐ終わる。5分で終わることだから。ちょっと今、引っかかっているのは、賃貸の契約は、町から建物所有者への賃貸契約と、建物所有者からの転貸人への賃貸契約と二つあるわけですよ。二つの賃貸契約が。この中で、あなたが賃貸契約書を、町からの借地人に対して、「契約書なくしたから送ってください」っていうのは、僕はその建物の賃借人のことだと思ってたけど・・・

[坂野]

上で話しましょう。野村さん

[野村]

ちょっと待って。あなたが一番わかるはずでね。ここであなたが対応してる「賃貸借の契約の本紙を紛失してしまいました」と「送ってください」「はいわかりました。送ります」と言ってるやり取りがあるんです。ここにね、去年の10月14日に。

[西川]

うん。はい、はい。

[野村]

「契約書をなくしてしまった」と、「送ってもらえませんか」「はい、送ります」というやり取りがあって、そこの賃貸契約というのは、これまでのやり取りを考えると、こと細かく自分がやろうとしてることに町の了解をとって、進める人なんですよ。半年も1年も前に、町から取り付けたことを、盾にして、「あなたがこう言ったでしょ」ってことが、記録に残ってる。

[坂野]

別室、行きますので。

[野村]

すぐ終わる。

[坂野]

終わってないじゃないですか。

[野村]

すぐ終わる。ぼく聞いているのは、この契約書っていうのは、賃貸借の建物所有者から、第三者に、貸したときの賃貸の契約書じゃないんですか？この契約書っていうのは

[西川]

土地の賃貸借の契約書です。土地の賃貸借契約書。

[野村]

そうすると、あなた方は、第3者というか、土地賃借人、建物所有者が第三者に貸した賃貸借の契約書は、持ってないってことなんですか？

[西川]

建物の契約書は持ってないです。

[野村]

持ってない。でもね、これ当然、賃貸借の期間の問題があるから、当然、契約期間に対して・・・

[坂野]

それも含めて、別室で話しますよ。

[野村]

貴方、何もわかってないじゃないか。

[坂野]

いや・・・

[野村]

わかる人呼んでくれ。副町長、呼ぶんだったらいいよ。

[坂野]

ここで話したってわからないじゃないですか？同じじゃないですか。ここで話したって・・・

[野村]

あなたより、この人の方が、まだ、ちゃんと・・・

[坂野]

ちょっと上に・・・

[野村]

じゃあ、一緒に来て。